

平常展「盆栽クロニクル—年代記—大宮盆栽100周年に向けた特集展示」

コーナー：開村10周年記念 清水瀨庵翁紀功碑の建設

令和5年2月4日（土）～4月5日（水）

このコーナーでは、令和7年（2025）4月に迎える大宮盆栽村100周年に向けた資料調査の経過報告として、九霞園（きゅうかえん）が所蔵する開村10周年記念行事にかかる資料を紹介します。

大正14年（1925）4月に誕生した盆栽村は、昭和10年（1935）に開村10年目を迎えました。これを祝して、盆栽村の草分けで盆栽界の振興に尽くした清大園（せいだいえん）の園主・清水利太郎を顕彰する「清水瀨庵翁紀功碑（しみずせいあんおうきこうひ）」が建設されました。2年の歳月をかけて準備され、盛大に除幕式が行われたのは、昭和11年（1936）11月3日のことです。

大宮の地に新天地を求めて10年目。国風盆栽展が昭和9年（1934）に始まるなど盆栽界が躍進し、気鋭に満ちた時代でした。当時の状況を伝える関係資料に着目し、盆栽村発展の歴史を紐解く一助といたします。

清水利太郎（号：瀨庵 1874～1955）

東京府本郷区駒込千駄木町にあった盆栽園・清大園初代の清水藤吉の長男。明治41年（1908）に「東洋園芸会」、大正10年（1921）に「大日本盆栽奨励会」を結成し、それぞれの機関誌『東洋園芸界』、『盆栽』の刊行にも尽力するなど、盆栽界の振興に生涯を捧げた。大宮盆栽村の創設計画でも中心的役割を果たし、移住者の第一号となった。



利太郎と清水瀨庵翁紀功碑

展示リスト

通番	資料名称	年代	員数	所蔵
(1) 盆栽村建設記念会の発足				
1	「大宮盆栽村満十周年記念事業発起趣旨」	昭和9年（1934）10月	1通	九霞園
2	印章「盆栽村建設記念会印」「記念碑建設会之印」	昭和9年（1934）10月頃	2点	九霞園
3	「盆栽交換会売原簿」「盆栽交換会買原簿」	昭和9年（1934）10月13日・14日	各2冊	九霞園
(2) 紀功碑の石材				
4	石材図面	昭和9年（1934）～昭和11年（1936）	3枚	九霞園
5	手紙（記念碑石材の産地見分についての依頼）	昭和10年（1935）7月26日	1通	九霞園
6	「見積書」「証明書」	昭和10年（1935）	4通	九霞園
7	領収書（手付金領収）	昭和11年（1936）5月20日	1通	九霞園
(3) 除幕式の挙行				
8	「清水瀨庵翁記功碑除幕式次第」	昭和11年（1936）11月3日	1通	九霞園
9	東京盆栽組合「祝詞」	昭和11年（1936）11月3日	1通	九霞園
10	写真 除幕式の様子・清水瀨庵翁記念碑と清水利太郎	昭和11年（1936）11月3日	3枚	九霞園
(4) 寄付をした人びと				
11	「清水瀨庵翁記念碑建設費収支報告」	昭和11年（1936）11月3日	1通	九霞園
12	寄附者芳名	昭和11年（1936）	1通	九霞園
参考	雑誌『盆栽』16巻12号	昭和11年（1936）12月5日刊	1冊	館蔵

○ このコーナーの展示に際しては、九霞園の村田行雄様にご多大なるご協力を得ました。深く感謝申し上げます。

○ 清水瀨庵翁紀功碑は植嶽（植竹）稲荷神社境内（さいたま市立漫画会館から北に約50m）に現存していますので、盆栽村散策を兼ねてご見学ください。